



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年2月5日

上場会社名 株式会社モスフードサービス 上場取引所 東
 コード番号 8153 URL http://mos.jp/
 代表者 (役職名) 取締役会長 兼 取締役社長 (氏名) 櫻田 厚
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 経営サポート本部長 (氏名) 福島 竜平 TEL 03-5487-7371
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切り捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	53,378	8.0	3,002	172.1	3,144	164.2	1,944	222.4
27年3月期第3四半期	49,418	△0.7	1,103	△44.2	1,190	△44.8	603	△63.5

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 2,129百万円 (179.8%) 27年3月期第3四半期 760百万円 (△60.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	63.09	-
27年3月期第3四半期	19.57	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	58,212	43,818	75.1
27年3月期	55,301	42,376	76.5

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 43,744百万円 27年3月期 42,295百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	-	11.00	-	11.00	22.00
28年3月期	-	11.00	-	-	-
28年3月期(予想)	-	-	-	11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	69,500	4.8	2,400	54.4	2,500	64.1	1,400	108.1	45.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	32,009,910株	27年3月期	32,009,910株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	1,182,854株	27年3月期	1,182,311株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	30,827,402株	27年3月期3Q	30,828,124株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業績の変化等により、予想値と異なる場合があります。業績予想に関する事項につきましては、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな景気回復基調で推移したものの、個人消費については、持ち直しの動きが見られる一方、所得水準の伸び悩みなどから価格重視の消費と価値重視の消費の2極化の傾向が一層強まる状況となりました。

われわれ外食業界を取り巻く環境においても、原材料費の高止まり、物流費の高騰、人手不足や人件費の上昇など、厳しい状況が続いております。

こうした中、当社グループは、「人間貢献・社会貢献」の経営理念のもと、「食を通じて人を幸せにすること」という経営ビジョンの達成に向け、国内モスバーガー事業の収益力強化、海外事業の推進、新業態の開発・推進などに積極的に取り組んでまいりました。

その結果、当第3四半期の連結経営成績につきましては、売上高は533億78百万円(前年同四半期比8.0%増)、営業利益30億2百万円(同172.1%増)、経常利益31億44百万円(同164.2%増)となり、最終損益は固定資産売却益1億21百万円、投資有価証券売却益57百万円、固定資産売却損32百万円、固定資産除却損1億33百万円、投資有価証券評価損49百万円、減損損失2億43百万円等を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益19億44百万円(同222.4%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<モスバーガー事業>

当社グループの基幹事業であるモスバーガー事業では、主として以下の施策を展開しました。

①独自性のある限定商品の投入

当第3四半期連結会計期間は、「ご当地メニュー」、「モスのプレミアム」をテーマに商品を投入し、好評を博しました。

「ご当地メニュー」として10月下旬からは「釧路ザンタレバーガー 甘酢たれ」、「中津からあげバーガー レモン添え」を販売いたしました。いずれの商品も当チェーンの加盟店スタッフからの商品要望を具現化したもので、それぞれ「釧路ザンタレなんまら盛り揚げ隊」や「聖地中津からあげの会」の監修をいただきながらモスならではの味を表現いたしました。

「モスのプレミアム」においては12月上旬から、国産肉100%使用のとびきりハンバーグサンドシリーズより高価格帯で食べごたえのあるバーガー商品『とびきりハンバーグサンド「傑作ベーコン」』『同スライスチーズ入り』を販売いたしました。本商品は、質・量ともにこだわった商品で、12月のボーナス商戦、クリスマス、年末年始などのハレの日需要に対応いたしました。

②モスのネット注文の推進

ご指定の時間で受け取りが可能な「モスのネット注文」の会員数は、順調に増え、当第3四半期末には20万人に届くまでとなりました。お電話注文と合わせた合計注文比率10%に向け、サービス、告知の強化を進め、さらなる会員の確保、利用頻度の向上を目指します。

③地域発信イベントの強化・農業生産法人・協力農家との協同など

「モスの産直野菜フェスタ」、「記念日連動企画」など地域発信のイベントを多数開催いたしました。モスの産直野菜フェスタとは、店長やスタッフが地元の協力農家を訪れ、自らが収穫した野菜を店舗にて販売・商品に使用するという企画です。野菜を活かしたその期間だけの特別メニューもご用意し、多くのお客さまにご好評をいただきました。また、「記念日連動企画」では、地域のイベント(県民の日など)を盛り上げるべく野菜のプレゼントや復刻商品の販売などのキャンペーンを行い、多くのお客さまにご利用いただきました。

農業生産法人においては、店舗への品質の高い生鮮野菜の安定供給のほか、外販など新たなチャネルの開拓を通じ、日本の農業への貢献を果たしてまいります。

国内モスバーガー事業の店舗数につきましては、当第3四半期連結累計期間においては出店20店舗に対し閉店は45店舗で、当第3四半期末の店舗数は1,380店舗(前連結会計年度末比25店舗減)となりました。

海外モスバーガー事業の店舗数につきましては、台湾243店舗(前連結会計年度比5店舗増)、シンガポール27店舗(同1店舗減)、香港15店舗(同2店舗増)、タイ6店舗(同増減なし)、インドネシア2店舗(同増減なし)、中国(福建省・江蘇省・上海市・広東省)15店舗(同8店舗減)、オーストラリア6店舗(同1店舗増)、韓国10店舗(同増減なし)となり、海外全体の当第3四半期末店舗数は324店舗(同1店舗減)となりました。

これらの施策により、モスバーガー事業の売上高は501億98百万円(前年同四半期比8.2%増)、営業利益は45億99百万円(前年同四半期比85.1%増)となりました。

<その他飲食事業>

当第3四半期連結会計期間に新業態店舗を2店、オープンいたしました。

1店舗目は、「四季の旬彩料理あえん」の新業態、「玄米食堂あえん エキュート大宮店」です。

「“日本のご馳走”をエキナカへ」をキーワードに、こだわりの玄米定食をメインにした気軽に日常使いいただけるレストランです。

そして2店舗目が「モスクラシック」です。グルメバーガーとお酒が楽しめる大人のモスパーカーを東京都渋谷区千駄ヶ谷にオープンいたしました。

各業態の当第3四半期末店舗数は、マザーリーフ業態合計で34店舗、「自由が丘 あえんおそうざい」事業2店舗、株式会社ダスキンとのコラボレーションショップ「モスト」事業2店舗(※)、「モスクラシック」事業1店舗、「四季の旬菜料理あえん」事業7店舗、「シェフズブイ」および「グリーングリル」事業は合計で3店舗となり、その他飲食店事業合計で、48店舗(前連結会計年度末比2店舗増)となりました。

(※)「モスト関西国際空港ショップ」は株式会社ダスキンによる運営のため、当社店舗数にカウントしておりません。

以上の事業活動の結果、その他飲食事業の売上高は26億47百万円(前年同四半期比5.4%増)、営業損失は3億1百万円(前年同四半期比1億53百万円の損失増)となりました。

<その他の事業>

連結子会社の株式会社エム・エイチ・エスおよび株式会社モスクレジットは、おもにモスパーカー事業やその他飲食事業を、衛生、金融、保険、設備レンタル面で支援しております。

これらによるその他の事業の売上高は5億31百万円(前年同四半期比2.4%増)、営業利益は1億68百万円(前年同四半期比4.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末の553億1百万円から29億11百万円増加し、582億12百万円となりました。流動資産は前連結会計年度末から52億78百万円増加し、固定資産は23億67百万円減少しております。流動資産が増加した主な理由は、クリスマス商戦と年末年始の加盟店向けの卸売に係る売掛金が増加したため及び一年以内償還予定債権の増加により有価証券が増加したためであります。固定資産が減少した主な理由は、株式の売却及び一年以内償還予定債券の有価証券への振替により投資有価証券が減少したためであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末の129億24百万円から14億68百万円増加し、143億93百万円となりました。この増加の主な理由は、クリスマス商戦と年末年始の加盟店向けの販売に係る仕入れに伴う買掛金の増加によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は前連結会計年度末に比べ14億42百万円増加し、自己資本比率は前連結会計年度末76.5%から当第3四半期連結会計期間末は75.1%と1.4%減少しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年11月4日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるた

め、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,789,082	8,686,312
受取手形及び売掛金	4,055,198	5,583,138
有価証券	2,900,177	4,964,739
商品及び製品	2,796,567	3,661,083
原材料及び貯蔵品	325,451	395,477
繰延税金資産	277,917	182,019
その他	823,782	779,390
貸倒引当金	△18,874	△24,534
流動資産合計	18,949,303	24,227,627
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,060,185	9,635,624
減価償却累計額	△5,871,403	△5,590,086
建物及び構築物(純額)	4,188,782	4,045,537
機械装置及び運搬具	292,768	283,989
減価償却累計額	△174,912	△188,004
機械装置及び運搬具(純額)	117,856	95,984
工具、器具及び備品	8,425,393	8,363,848
減価償却累計額	△4,642,465	△5,096,079
工具、器具及び備品(純額)	3,782,928	3,267,768
土地	1,460,785	1,321,415
建設仮勘定	66,328	16,108
有形固定資産合計	9,616,680	8,746,813
無形固定資産		
その他	1,288,112	1,304,006
無形固定資産合計	1,288,112	1,304,006
投資その他の資産		
投資有価証券	15,591,958	13,950,411
長期貸付金	1,460,663	1,264,521
差入保証金	5,281,114	5,060,732
繰延税金資産	95,088	69,139
その他	3,133,747	3,706,953
貸倒引当金	△103,335	△106,107
投資損失引当金	△12,200	△11,700
投資その他の資産合計	25,447,037	23,933,949
固定資産合計	36,351,830	33,984,770
資産合計	55,301,134	58,212,397

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,197,981	5,441,603
短期借入金	701,855	1,037,878
未払法人税等	349,258	602,457
賞与引当金	397,362	218,482
ポイント引当金	35,030	39,691
繰延税金負債	777	774
資産除去債務	13,490	37,306
その他	4,295,115	4,105,719
流動負債合計	9,990,870	11,483,914
固定負債		
長期借入金	16,849	1,055
繰延税金負債	324,328	442,419
退職給付に係る負債	326,009	272,269
資産除去債務	246,345	228,099
その他	2,020,252	1,965,789
固定負債合計	2,933,785	2,909,633
負債合計	12,924,655	14,393,547
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,412,845	11,412,845
資本剰余金	11,100,543	11,100,543
利益剰余金	19,774,264	21,033,865
自己株式	△1,611,506	△1,612,985
株主資本合計	40,676,145	41,934,268
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,076,961	1,407,952
為替換算調整勘定	599,612	417,187
退職給付に係る調整累計額	△57,122	△14,459
その他の包括利益累計額合計	1,619,451	1,810,679
非支配株主持分	80,881	73,902
純資産合計	42,376,478	43,818,850
負債純資産合計	55,301,134	58,212,397

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	49,418,841	53,378,063
売上原価	25,717,696	26,963,142
売上総利益	23,701,145	26,414,921
販売費及び一般管理費	22,597,911	23,412,704
営業利益	1,103,233	3,002,216
営業外収益		
受取利息	47,409	75,442
受取配当金	54,539	50,468
設備賃貸料	630,923	477,950
協賛金収入	777	280
持分法による投資利益	8,583	565
雑収入	166,839	146,456
営業外収益合計	909,073	751,162
営業外費用		
支払利息	16,486	21,275
設備賃貸費用	688,514	459,140
雑支出	117,244	128,465
営業外費用合計	822,244	608,882
経常利益	1,190,061	3,144,497
特別利益		
固定資産売却益	136,859	121,563
投資有価証券売却益	—	57,303
投資損失引当金戻入額	—	500
その他	—	1,544
特別利益合計	136,859	180,911
特別損失		
固定資産売却損	—	32,322
固定資産除却損	68,899	133,516
投資有価証券評価損	37,503	49,372
減損損失	198,766	243,150
投資損失引当金繰入額	6,500	—
関係会社整理損	661	—
火災損失	237,654	—
その他	—	11,987
特別損失合計	549,986	470,349
税金等調整前四半期純利益	776,935	2,855,060
法人税、住民税及び事業税	321,196	851,622
法人税等調整額	△108,290	62,378
法人税等合計	212,905	914,001
四半期純利益	564,029	1,941,058
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△39,210	△3,713
親会社株主に帰属する四半期純利益	603,240	1,944,772

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	564,029	1,941,058
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	125,169	330,676
為替換算調整勘定	32,321	△65,441
退職給付に係る調整額	1,881	42,662
持分法適用会社に対する持分相当額	37,489	△119,934
その他の包括利益合計	196,862	187,962
四半期包括利益	760,892	2,129,021
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	799,706	2,136,001
非支配株主に係る四半期包括利益	△38,814	△6,979

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	モスバーガ ー事業	その他飲食 事業	その他の事 業	計		
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	46,388,081	2,511,307	519,452	49,418,841	—	49,418,841
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	116,829	2,593	861,385	980,807	△980,807	—
計	46,504,911	2,513,900	1,380,837	50,399,649	△980,807	49,418,841
セグメント利益又は損失(△)	2,484,795	△147,518	161,234	2,498,511	△1,395,278	1,103,233

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,395,278千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,384,942千円を含んでおります。全社費用の主なものは、提出会社の経営企画・経理部門等の経営管理に係る部門の費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	モスバーガ ー事業	その他飲食 事業	その他の事 業	計		
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	50,198,682	2,647,644	531,736	53,378,063	—	53,378,063
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	121,152	4,733	891,430	1,017,317	△1,017,317	—
計	50,319,835	2,652,378	1,423,167	54,395,381	△1,017,317	53,378,063
セグメント利益又は損失(△)	4,599,715	△301,231	168,418	4,466,902	△1,464,685	3,002,216

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,464,685千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,464,142千円を含んでおります。全社費用の主なものは、提出会社の経営企画・経理部門等の経営管理に係る部門の費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。